

日本  
共産党

# 八幡市議会 報告ニュース

2017年9月17日 No.625

日本共産党八幡市議会議員団（983）2005

くらしの相談 お気軽に

山本邦夫市議	982・8844
巖 博市議	982・9663
亀田優子市議	982・1277
中村正公市議	983・8312

市議団メール jcp-ywta@am.wakwak.com

## 国民健康保険の広域化

9月議会 八幡市が答弁

日本共産党は  
値下げを要求

# 市の財源投入は可能 負担軽減に道ひらく

国保制度の改編で、来年度から都道府県単位で広域化して運営にあたります。これにより、市町村で決める国保料が大幅に値上げされる懸念が各地で出ています。

### 国保料値下げを

日本共産党市議団は7日の一般質問で、市の一般会計から国保財政に繰り入れて市民負担軽減を求めました。市は、値下げを明言しなかったものの、市の財政繰り入れは「可能と考えている」と答弁しました。

日本共産党は、過去の値上げで八幡市の国保料が京都府下の市で最高額になっていると指摘し、一般会計からの財政繰り入れで国保料を大幅値下げせよと迫りました。

また、保険料の申請減免などの各種減免制度は市の判断で継続・改善できるのかと

窓口負担  
市の減免制度も継続へ

問いました。これにたいし八幡市は、現状の減免制度などは継続できると答えました。

今後、八幡市から京都府への納付金が決まり、1月ごろに市の国保料の水準が明確になります。

今回の答弁は、来年度以降の国保運営にあたり、国保料の負担軽減のために市が財源を投入できること、低所得者向けに保険料、病院での窓口負担を軽減するための減免制度を継続することが可能であることを明らかにしました。

### 滞納した場合も市で相談可能

また国保料を滞納した場合、京都税機構に移管されますが、納付相談は従来通り市の窓口でも受けられると約束しました。

非正規職員の  
就業条件改善

## 有給休暇日数が増加 371人

八幡市役所で働くアルバイトなど非正規職員の有給休暇が改善されました。371人の非正規職員の有給休暇日数が増えました。日本共産党の一般質問への答弁。

八幡市役所では、アルバイトなど短期嘱託職員の場合、実質的には長期に勤務していても、「雇用は1年で終了」とするという取扱いとなっていて、年間の有給休暇の付

与日数が増えませんでした。

日本共産党がこの間、総務委員会や本会議で改善を迫り、市も労働基準監督署と協議をして、今年4月から、長期間の継続雇用の場合、さかのぼって有給休暇日数を増やすことになりました。

非正規職員の雇用改善の一步ですが、同時に有給休暇を消化できる勤務条件の改善も必要です。

日本共産党の  
追求みものる